

トピック

INFORMATION

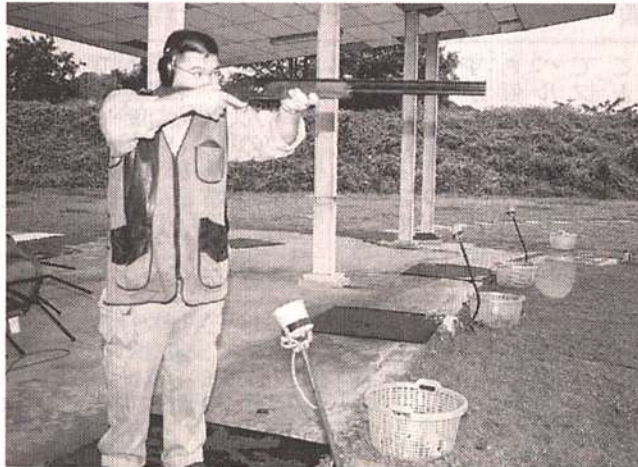
トピック

ピストル、ライフル、ショットガン 女性や子供でも楽しめる射撃を体験してみよう

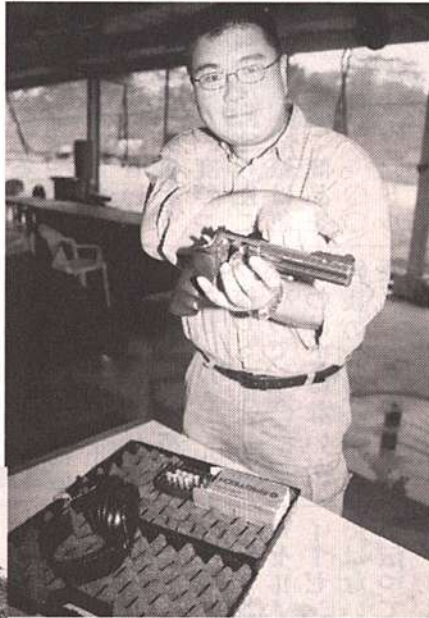
近代オリンピックの始まりである第1回アテネ大会から競技種目として取り入れられ、現在その参加国数は陸上競技について多いとされる射撃競技。ここシンガポールでも本格的な競技としてはもちろん、スポーツレジャーとしても人気が高い。この射撃を当地で楽しむことができる施設がチャオ・チューカンにある。シンガポール・シューティング協会が運営するナショナル・シューティングセンターだ。

同センターにはピストルやライフル用の標的や、空中に打ち出される素焼きの的をショットガンで打ち落とすクレイ・シューティング用の施設など様々な射撃競技に対応したレンジがあり、多くのシンガポール代表選手もここで練習をしている。利用するにはシンガポール・シューティング協会加盟クラブの会員になるか、会員と同伴する必要がある。ちなみに永住権 (PR) を持たない外国人にも門戸

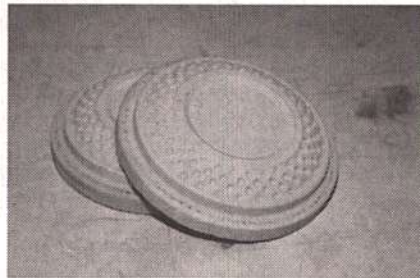
を開いているクラブはシンガポール・ガンクラブとシンガポール・ライフル協会のみ。どちらもナショナル・シューティングセンター内にオフィスがある。もちろん会員でも初心者



ショットガンによるクレイ・シューティング。右写真のような素焼きの的が空中に打ち出され、それを打ち落とす



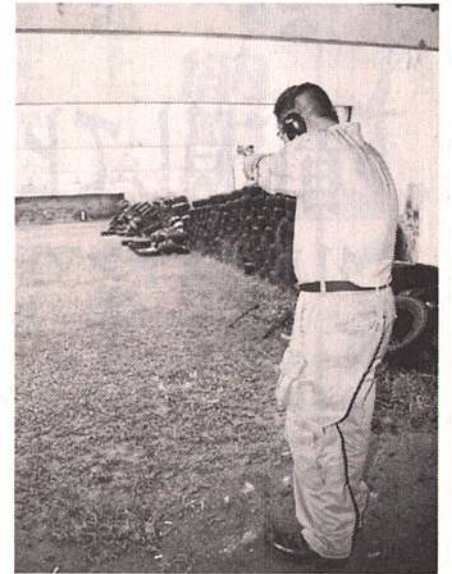
プロのコーチ、ギー・ホーさん。レッスンは銃の構造をよく知ることから始まる



の同伴が必要で、クラブ主催のレッスンなどに参加して同センターを利用できる。だが、会員になる前にとりあえず試してみたいという人もいるだろう。そういう人のために同センターは当地でただ1人というプロフェッショナル・コーチのギー・ホーさんを紹介してくれた。

ギー・ホーさんはショットガン、ピストルを中心とした射撃のコーチ。個人や少人数のグループに同センターでレッスンを行っているので、まずは射撃を体験してみたいという人にぴったりのコーチなのだ。また他のコーチはパートタイムが多く平日のレッスンは難しいのに対し、ギー・ホーさんは火曜日から日曜日の午前9時半から午後5時半まで、いつでもコーチが可能なのも嬉しい(要予約)。レッスンは1回約2時間で1人150ドル~(レンジ・銃使用料込み)で、「1人でも受け付けていますが、2~3人で受けてもらうのがベスト」とギー・ホーさん。企業や大グループでの射撃イベントのアレンジにも応じてくれるとのことだ。

射撃は安全なスポーツではあるが、銃はあくまでも凶器になりうるもの。十分な注意をはらって楽しもう。



ピストルでの射撃の様子。初心者は標的をもっと近くに設定して行う

National Shooting Centre
990 Choa Chu Kang Rd.
Tel: 67953760
Mr. Guy Hoh
Tel: 97953167
Email: guy@singaporesportshooting.com
guy_hoh@hotmail.com